

国立文楽劇場料金表(令和8年4月1日以降の使用から適用)

劇場使用料

【文楽劇場】

種別	使用区分		平日	土・日・祝
伝統芸能等の公開 (第1種)	全日	午前10時半～午後9時半	588,400円	706,100円
	半日	午前10時半～午後4時	294,300円	353,100円
	午前	午前10時半～正午	176,600円	211,800円
	午後	午後1時～午後4時	235,400円	282,400円
	夜間	午後5時～午後9時半	411,800円	494,300円
	午後夜間	午後1時～午後9時半	529,500円	635,500円
その他の芸能の上演 (第4種)	全日	午前10時半～午後9時半	882,600円	1,059,100円
	半日	午前10時半～午後4時	441,300円	529,600円
	午前	午前10時半～正午	264,800円	317,700円
	午後	午後1時～午後4時	353,000円	423,600円
	夜間	午後5時～午後9時半	617,800円	741,400円
	午後夜間	午後1時～午後9時半	794,300円	953,200円

【小ホール】

種別	使用区分		平日	土・日・祝
全種均一	全日	午前10時半～午後9時半	140,100円	168,100円
	半日	午前10時半～午後4時	70,100円	84,100円
	午前	午前10時半～正午	42,000円	50,400円
	午後	午後1時～午後4時	56,000円	67,200円
	夜間	午後5時～午後9時半	98,100円	117,700円
	午後夜間	午後1時～午後9時半	126,100円	151,300円

・非公開による芸能の上演(第2種)、芸能に関する式典・講演等が主であるもの(第3種)、その他の使用(第5種)の料金はお問い合わせ下さい。

・楽屋は使用区分の1時間前から入れます。

・第1種または第4種の使用で、「全日」の使用期間が連続して5日以上にわたる場合は割引があります。

・本番に向けた準備(仕込)や稽古(リハーサル)のための使用には割引があります。

常設舞台装置使用料

	常設舞台装置(定式道具)	使用料
あ	浅妻船	32,000円
	雨の五郎	31,300円
	菖蒲浴衣	19,600円
	粟餅(街屋定式)	23,400円
い	板羽目ナラベ	36,800円
	妹背山	60,500円
う	浦島	25,000円

	常設舞台装置(定式道具)	使用料
え	越後獅子	32,900円
お	大平(前欄間付)	64,700円
	大平	50,600円
	大平(小ホール専用)	33,200円
	近江のお兼	35,600円
	お染久松	13,400円
	落人	54,400円

	常設舞台装置(定式道具)	使用料
	お夏狂乱	64,000円
	大原女	46,900円
	お光狂乱	28,900円
	女車引	63,100円
	女伊達(仲之町定式)	47,300円
か	傀儡師(街屋定式)	23,400円
	鏡獅子	76,100円
	角兵衛(街屋定式)	23,400円
	かさね(※打ち藪別料金)	70,900円
	神田祭	37,300円
き	勢獅子	37,600円
	菊	15,700円
	喜撰	14,500円
	京鹿子娘道成寺	80,000円
	京人形	43,900円
く	鞍馬獅子	43,400円
け	元禄花見踊	16,600円
こ	独楽	37,600円
	子守(街屋定式)	23,400円
さ	鷺娘	47,300円
	五月雨	9,600円
	三社祭	34,000円
	汐汲	26,500円
	賤の芋環(一景・二景)	32,200円
	島の千歳(赤柱)	19,000円
し	石橋	20,800円
	執着獅子(鏡獅子大平)	53,800円
	正札附草摺引	69,500円
	助六	45,000円
	団十郎娘	35,400円
す	蝶の道行	15,700円
た	津山の月	40,400円
ち	丁稚(蔵街屋)	23,400円
つ	手習子	23,600円
て	峠の万歳	46,200円

	常設舞台装置(定式道具)	使用料
と	年増	39,600円
	鳥羽絵	51,600円
	供奴(仲之町定式)	47,300円
な	仲之町	47,300円
に	二人椀久(桜切出し)	26,600円
の	乗合船	52,300円
は	羽根の禿	41,000円
ふ	藤娘	58,100円
	双面	53,800円
	文売り	18,000円
ほ	本朝廿四孝	71,600円
ま	舞妓	38,300円
	まかしよ	20,000円
	将門	74,100円
	街屋	23,400円
	街屋(川街屋)	23,400円
	街屋(蔵街屋)	23,400円
	街屋(正面橋街屋)	31,300円
	街屋(桜、川街屋)	23,400円
	松羽目(囲い付)	76,200円
	松羽目	63,800円
み	三ツ面子守	37,700円
	都鳥	36,600円
も	辰橋	62,600円
や	櫓のお七(幻お七)櫓の場	64,400円
	屋敷娘	18,400円
	八島官女	28,000円
	保名	15,900円
ゆ	夕立	27,300円
	夕月	32,500円
よ	吉野山	40,000円
	吉原雀(仲之町定式)	47,300円
り	流星	25,200円
ろ	浪曲5点セット (机・湯飲置き・椅子・盆栽台2台)	12,500円

・常設舞台装置の一部を使用する場合の料金はお問い合わせください。

舞台備品使用料

舞台備品	使用料	舞台備品	使用料
囲い一式(砂子・紺・黒)(全日)	28,200 円	屏風(金・銀・鳥の子)一雙	6,400 円
囲い(小ホール専用・砂子)(全日)	9,700 円	色紙(鳥の子・砂子・ぼかし)	3,700 円
スモークマシン	6,700 円	ドライアイスマシン(ドライアイスは実費)	6,700 円

- ・その他、立木、造花、吊枝、吊花、幕類等、各種ございます。
- ・使用1回毎に料金がかかります。・連続使用の場合には割引がございます。

その他の施設使用料・受託料

項目		単位	使用料
稽古室使用料 (10:00~21:00)	大稽古室(小ホール)	1 時間	8,100 円
	中稽古室(和室・12 畳)	1 時間	1,700 円
	小稽古室1・2(和室・6 畳)	1 室・1 時間	900 円
花道措置料(文楽劇場)			38,200 円
入場券作成手数料	クリーム色	1 枚	20 円
入場券委託販売手数料	国立文楽劇場チケット売り場での前売	売上 1 枚につき	額面の 10%
受託録音料	運営モニターによる録音	30 分	2,100 円
ワイヤレスマイク		1 本	1,400 円
録音媒体	CD	1 枚	200 円
照明エフェクトマシン	1 台	1.5kw 以上	2,900 円
		1.0kw 以上	2,100 円
		1.0kw 未満	1,400 円
電源・場所等使用料 (主催者以外による営業等の行為)	電源を使用しない場合	1 件	2,800 円
	電源を使用する場合		4,200 円

担当職員稽古立会料

時間	立会料(1 人)
1 時間半以内	8,800 円
5 時間半以内	12,100 円
5 時間半超	13,200 円
劇場外の稽古等に立会う場合は交通費が発生いたします。	

舞台関係業者費用

(令和 8 年 4 月 1 日以降)

		料金
人件費 (1 人)	午前	20,900 円
	半日、午後、夜間	28,600 円
	全日、午後夜間	30,800 円
表看板作成		20,900 円
めくり作成(1 枚)		2,530 円

- ・劇場使用日以外の稽古等に劇場職員の立ち会いをご希望の場合は、早めにお申し出ください。日程により立ち会えない場合もございます。また、通常業務を超える技術協力を行う場合は別途技術料・立会料が発生いたします。
- ・公演の内容や規模に応じて、舞台・照明・音響・操作盤の各業務ごとに舞台関係業者人件費が発生いたします。

劇場使用例のご紹介

【文楽劇場 使用例①】

日本舞踊舞踊会 日曜日 11:00 開演 20:00 終演

文楽劇場使用料	¥744,300	土日祝「全日」・花道使用
舞台設備使用料等	¥448,800	囲い一式 定式道具 等
舞台業者人件費	¥554,400	舞台・照明・音響・操作盤(計 18 人)
計	¥1,747,500	

【文楽劇場 使用例②】

邦楽演奏会 日曜日 12:00 開演 15:30 終演

文楽劇場使用料	¥353,100	土日祝「半日」
舞台設備使用料等	¥ 89,800	囲い一式 等
舞台業者人件費	¥486,200	舞台・照明・音響・操作盤(計 17 人)
計	¥929,100	

【小ホール 使用例①】

日本舞踊おさらい会 日曜日 11:00 開演 15:30 終演

小ホール使用料	¥ 84,100	土日祝「半日」
舞台設備使用料等	¥78,500	囲い 屏風 等
舞台業者人件費	¥143,000	舞台・照明・音響(計 5 人)
計	¥305,600	

【小ホール 使用例②】

落語会 平日 18:00 開演 20:00 終演

小ホール使用料	¥98,100	平日「夜間」
舞台設備使用料等	¥44,900	囲い 屏風 等
舞台業者人件費	¥85,800	舞台・照明・音響(計 3 人)
計	¥228,800	

※上記は使用例です。料金は実際の内容により変動いたします。

・この料金表は令和 8 年 4 月 1 日以降のご使用の際の料金です。
今後、予告なく料金の変更、使用方法の変更などが実施される場合がありますので、ご了承ください。

劇場ご使用までの流れ

①「予約申込書」のご提出

まずは「予約申込書」をご提出ください。使用内容を確認させていただきます。文楽劇場のご使用が初めての場合は、上演前歴等がわかる資料も併せてご提出ください。

②「使用日内定通知書」「施設使用申込書」の発行

使用内容の確認が出来ましたら発行いたします。

③「施設使用申込書」のご提出

必要事項を記入してご提出ください。

④予約保証金のご請求

予約保証金は劇場使用料の 50% です。

⑤予約保証金のご入金

ご入金後に使用取消となった場合でも、予約保証金はキャンセル料として頂戴し、返金いたしません。使用日の変更も当初申込のキャンセルとして取り扱いますので、ご注意ください。

⑥「施設使用承諾書」の発行

予約保証金の入金を確認後、「施設使用承諾書」を発行いたします。

⑦公演打合せ

公演の一月程度前に、劇場側スタッフと公演の打合せを行います。

⑧「概算見積書」の発行

打合せの結果をもとに、公演に関する経費の概算見積書を発行いたします。

⑨使用当日

公演終了までに、劇場使用料の残額、道具使用料、関係業者人件費等を現金にてお支払いください。

お申し込み・お問い合わせ

国立文楽劇場 営業課 劇場利用係 (平日 午前10時～午後6時)

〒542-0073 大阪市中央区日本橋 1-12-10 国立文楽劇場 1 階

TEL 06-6212-5794 FAX 06-6212-1091

<https://www.ntj.jac.go.jp/bunraku.html>